

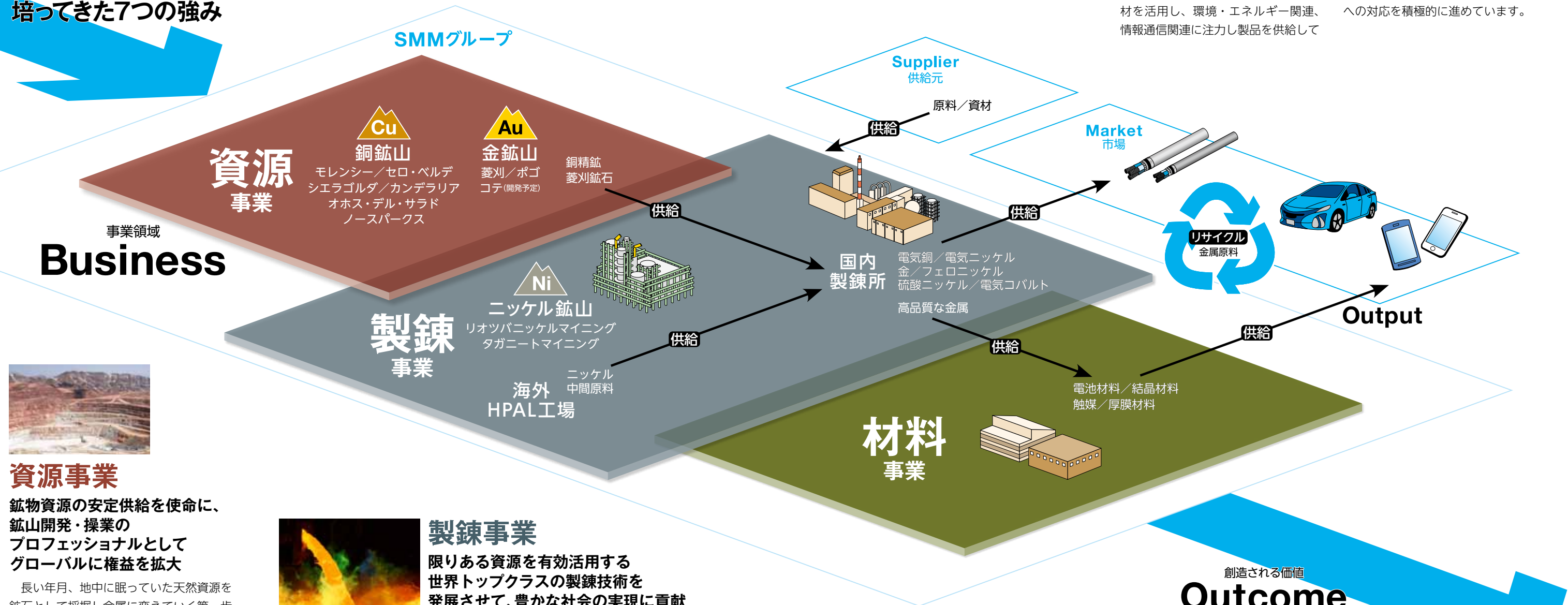
SMMグループのビジネスプロセス

「3つのコアビジネス」の連携により、 基礎素材から高品質な製品の安定供給に貢献

「天然資源である鉱石を採掘し、製錬によって金属素材に、そしてその素材へ新たな価値を付加する」

時代によって扱う素材や付加する価値はさまざまですが、このビジネスプロセスの根幹は長年にわたり変わりません。

インプット
Input
地球資源
培ってきた7つの強み



資源事業

鉱物資源の安定供給を使命に、
鉱山開発・操業の
プロフェッショナルとして
グローバルに権益を拡大

長い年月、地中に眠っていた天然資源を
鉱石として採掘し金属に変えていく第一歩
となるのが資源事業です。1691年から
1973年まで283年間の別子銅山の運営な
どで培われた技術は1985年、2006年に
それぞれ操業を開始した菱刈鉱山、ポゴ金
鉱山へと受け継がれています。また、現在
では、鉱山開発・操業のプロフェッショナル
として世界各地で操業鉱山の運営に参画
するとともに、数多くの探鉱プロジェクト
や開発案件の調査を進めています。



製錬事業

限りある資源を有効活用する
世界トップクラスの製錬技術を
発展させて、豊かな社会の実現に貢献

資源部門および海外鉱山会社から調
達した鉱石等から銅、ニッケル、金を
中心とした金属を取り出すのが製錬事
業です。1596年頃に蘇我理右衛門に
よって完成された銅と銀を分離する
「南蛮吹き」から420年余り、脈々と
受け継がれる製錬技術を発展させ、技

術的に困難であった低品位ニッケル酸
化鉱からのニッケルを回収するHPAL*
技術の商業化を世界に先駆けて成功す
るなど、現代においても世界トップク
ラスの製錬技術を有しています。また
電気ニッケル、電気コバルトを生産す
る国内唯一のメーカーです。

*HPAL : High Pressure Acid Leach (高圧硫酸浸出) 低品位ニッケル酸化鉱からニッケル、コバルトを回収する技術。CBNCが世界で初めて2005年に大規模商業生産に成功、第2拠点としてタガニートHPALが2013年から操業を開始。

材料事業

車載用二次電池材料など
成長分野での製品供給を通じて
サステナブルな社会の実現に貢献



製錬部門などから調達した金属素材
や材料にコア技術を活かしてさまざま
な価値を付加し、機能性材料などを生
産・供給しているのが材料事業です。
ニッケルをはじめとしてさまざまな素
材を活用し、環境・エネルギー関連、
情報通信関連に注力し製品を供給して

います。近年は、お客様との連携のも
と、ハイブリッドおよび電気自動車の
車載用二次電池向け正極材、またス
マートフォンなどのSAWフィルター
向け材料であるLT/LNの旺盛な需要
への対応を積極的に進めています。

